

古文書の保存と管理について

■ 古文書の保存の仕方

保存場所

保存場所には直射日光が当たらず、風通しが良く、湿気の少ないところが適しています。棚の上などが望ましいですが、床の上に置く場合は「すのこ」の上に置いてください。

保存場所はこまめに掃除をして、ごみやほこりを取り除きましょう。

保存容器

古文書は、タンスや木箱など、湿度の影響を受けにくい木製容器に入れましょう。古文書を1点ずつ封筒に入れると更に効果的です。

湿気の少ないところならば、ダンボール箱でもかまいません。

防虫剤

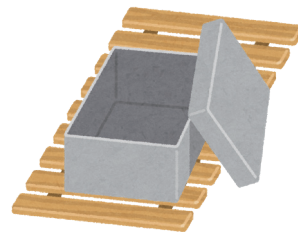
保存箱の中には防虫剤を入れてください（薬局やドラッグストアなどで販売されているもので大丈夫です）。

異なる種類の防虫剤は一緒に入れてはいけません。

虫干し

紙を食い荒らす虫などから古文書を守るためには、虫干しをすることが最も有効です。年に1～2回は虫干しをするようにしましょう。

虫干しをする時は、降雨の直後は避け、春や秋の晴天乾燥日に直射日光が当たらないよう、陰干ししてください。



■ こんな時はどうする？

虫食いがある

虫損の拡大を防ぐために、虫干しを行い、箱を替えて湿気の少ないところに置き、防虫剤を入れて保存してください。

湿っている

乾燥した日に陰干しを行い、湿気の少ない場所に保存してください。

カビが生えている

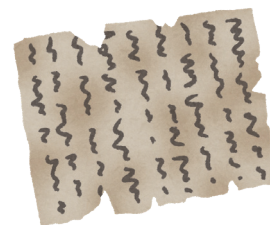
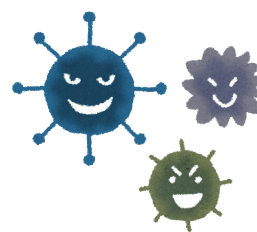
陰干しで風通しをし、カビを殺した後、ハケでいねいにカビを払い落としてください。取れないカビ跡は無理に取らないようにしてください。

ごみやほこりがついている

ごみやほこりはハケでいねいに払います。古文書だけでなく、保存容器の中や保存場所の掃除も行い、きれいにしてください。

すり切れていたり破れていたりしている

封筒に入れた上で箱に保管すると、劣化を遅らせることができます。また、古文書の出し入れの回数を減らしてください。



■ 連絡先

福井県文書館

住所：918-8113 福井県福井市下馬町 51-11

電話：0776-33-8890 ファックス：0776-33-8891

メール：bunshokan@pref.fukui.lg.jp

ウェブサイト：<https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp>

開館時間：9：00～17：00（月曜休館）